

【JST 女子中高生の理系進路選択支援プログラム】
「香川大学ダイバーシティ&サイエンス 理系選択応援プロジェクト」
出前講座<高松市立高松第一高等学校>実施報告

日 時:2023年11月13日(月) 15:40~16:30

会 場:高松市立高松第一高等学校

講 師:香川大学創造工学部 教授 上村 忍

香川大学創造工学部 大学院1年 森山陽菜 渡邊尚乃

学部4年 川東鈴佳 田原梨珠

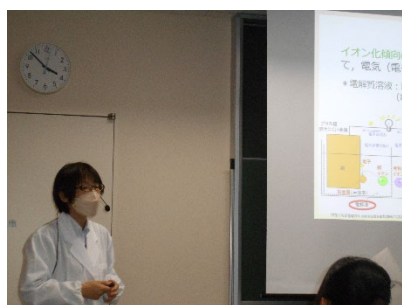
参加者数:高校1年生 49名、教員10名

香川大学ダイバーシティ&サイエンス理系選択応援プロジェクトの第3回目の出前講座を、11月13日、高松市立高松第一高等学校で開催しました。参加者は高校1年生の男女49名と教員10名でした。

まず、界面化学、高分子化学がご専門の上村先生（創造工学部材料物質科学コース教授）から、「電気で色が変わる高分子の電池 ～軽くて機能を持つ材料～」をテーマに、講義をしていただきました。電気を流す性質をもつ導電性高分子は、高機能のスマートフォンやPCなどに活用されていることが紹介され、化学を身近に感じることができました。

講義の後は、二人一組に分かれ、導電性高分子を作る実験を行いました。学生もサポートに入り、導電性高分子の色の変化を確認したり、高分子で二次電池（充電と放電が繰り返し可能な電池）になることをブザーの音で体験したりしました。その後のキャリアトークでは、上村先生に続き、大学院1年生の森山さん、渡邊さん、学部4年生の川東さん、田原さんから、理系選択の理由、研究テーマ、卒業後の進路について話をさせていただきました。

アンケートでは、「楽しく実験ができた」、「先輩方の話がきけてよかった」、「理系が楽しそうだった」（高校生）、「実験をしている生徒が楽しそうだった」（教員）などの声が寄せられました。



上村先生による講義



実験の様子



学生よるキャリアトーク